



神戸市立稗田小学校
平成 27 年 1 月 8 日

新しい年を迎えて

平成 27 年の新しい年を迎えました。これまで同様、本校の教育推進にご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

さて、昨年、2 学期末に本校はインフルエンザ流行の波をかぶってしまい、数個学級閉鎖の状態を終業式を行いました。しかも、インフルエンザ蔓延のリスクを少しでも避けるため放送による教室での終業式という異例の措置を取らざるを得ませんでした。

冬休みが明け、昨日は 3 学期の始業式でした。残念ながら体調不良等で一部の児童は欠席していましたが、大きな事件、事故もなくほぼ全校児童、元気に登校する姿を見てまずはホッとしているところです。正月を含む年末年始、各ご家庭で子どもたちはどのように過ごしていたでしょうか。終業式で子どもたちに話したことですが、冬休みは 2 学期を振り返ると同時に 1 年間を振り返って、何ができたのか、できなかったのかを見つめ直し、そのうえで年初めに 1 年の計を立てる大事な期間でした。始業式では代表児童 3 名が「3 学期にがんばること」を堂々と発表しました。この子どもたちの「3 学期の計」はそのまま、この 1 年の計につながるのだなあ、と感心しながら聞きました。昨年度の学校だより 1 月号にも書きましたように、家族・親戚や知人とのふれ合いを通じて様々な有用な経験をし、それを確かに心に刻みながら子どもたちはまた一段、成長したように感じます。

3 学期は新しい内容を勉強する一方、1 年間の学習をまとめ、仕上げていく時期でもあります。しかし、授業日数としては卒業式・終業式まで五十数日しかありません。この短い期間に学校の目標「みんなで一考える・なかよくする・がんばる」やそれに基づく学年目標、そして、これらを基盤にしながら子どもたちがそれぞれに立てたであろう「自分の目標」を、子どもたちなりにしっかりと「検証」させたいと考えます。もちろん、私たちは子どもたちの表れをもとに指導（方法）の成果と課題を検証することで、教育のプロとして自らに負荷をかけ、かわいい稗田の子たちの明日を更によりよい方向に切り拓く努力をしなければなりません。子どもたちだけでなく、我々教師にとってもこの 3 学期は大切な教育評価の時期であるわけです。ご家庭あるいは地域で、これまでの子どもたちの様子をご覧になって、どういうところが成長しているのか、どこに課題を感じるか、それはなぜなのか。皆様にも「稗田子育てチーム」の一員として、家庭教育の視点から、また地域の教育力の視点から、本校の教育について建設的なご提言をいただき、学校での教育改善につなげていければ幸いです。

学校長 牧坂 浩一

—<うれしいお知らせ>—

県では最も歴史のある「兵庫県小中高校絵画展」において本校児童 6 名(各学年 1 名)が入選・特選に選ばれ、学校としても平成 21 年以来、5 年ぶりに栄えある「学校賞」を受賞しました。去る 12 月 26 日、授賞式が行われ作品は大丸神戸店特設展示場に展示されました。